

セラミックタイル 施工要領書

アイリスオーヤマ株式会社

1.選定時のご注意

- ・現品見本や写真見本と製品の色が若干異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・淡色のセラミックタイルの場合、汚れが目立ちやすくなります。選定時には色についても十分にご配慮ください。
- ・タイル自体にわずかながら吸水性があります。汚れが付着したままにしておくと、時間の経過と共に汚れが染み込む場合がありますので、汚れはすぐに拭き取ってください。

2.施工手順

(1) 施工前の確認と注意

- ・梱包材に記載されている品名・品番・ロット・数量を確認の上、施工を開始してください。同一床面上は、同ロットで仕上げてください。
- ・ロットの違いによる色差の生じる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・タイル裏面に付着している汚れできるだけ除去してください。そのまま張り付けると、接着不良になります。

(2) 下地の確認と注意

- ・下地の汚れを完全に除去してから施工してください。
- ・下地の表面状態の検査を行い、浮き・ひび割れなど不具合がある場合は適切に処理を行ってください。
- ・下地乾燥の程度を調べ、必要に応じて吸水調整を行ってください。下地の吸水性にムラがある場合は、吸水調整材をご使用ください。

(3) 割付けと基準線

- ・施工図と照合し基準墨から仕上げ墨出しを行い、各部位と伸縮調整目地などの取り合いについて寸法の確認を行います。
- ・施工図におけるタイル割付図と仕上げ墨出しの結果から、目地割りを決めます。

(4) タイル張り付け

- ・下地に張付けモルタルを平らに塗り付けます。塗り付けは、下地側に薄くこすりつけるつけるように塗り付けます。
- ・下地との密着が確認できたら、すぐに張付けモルタルを塗り重ねて3mm程度塗り付けてください。
- ・タイル裏面全体に張付けモルタルを3~5mm程度の厚さで塗り付け、すぐに下地に押し付け、ゴムハンマーなどでたたき押えながら張り付けていきます。

(5) 目地詰め

- ・張付けモルタルが硬化した後、目地詰め作業を行ってください。
- ・冬場は硬化が遅くなりますので、硬化したことをしっかりと確認してください。

3.施工後の注意

- ・汚れを除去する場合は、布・モップ・ホウキなどで掃除してください。ホコリやチリは掃除機で吸い取ってください。
- ・汚れが取れにくい場合は、きれいな水または中性洗剤を使用し、布でしっかりふき取ってください。
- ・しつこい汚れにはポリッシャーをご使用ください。それでも汚れが落ちない場合、中性洗剤で使用してください。
- ・油汚れにはスチームクリーナーをご使用ください。
- ・液体クレンザーで擦ると、表面を傷つける場合があります。
- ・履物や床面が濡れていると滑りやすくなりますので、ご注意ください。
- ・梱包材などを焼却する場合は、都道府県条例に基づいて処理してください。